

ケース3

平成9年12月定例会一般質問
(議会だより112号)

議員 「市内公共施設を結ぶコミュニティバスについて、本市の検討結果は」

こたえ

※ 同様の質問は多数

企画財政部長(当時) 「バス路線は17路線あり、市面積からすると、多い方である。交通不便地域は少ないものと認識しているが、停留所から距離のある施設は、何らかの改善をバス会社に粘り強く要望していきたい」

そして

平成13年10月8日 コミュニティバス“toco”東循環が運行しました。現在では、西、美笹、南西循環の4路線にまで拡大し、多くの方々に利用されています。



あれから〇年! あの質問はどうなった?

市の行政全般に対し質問できるのが一般質問です。本定例会でも多くの議員が質問を行いました。もちろん質問して、それっきりとなるわけではありません。担当部局で慎重に調査・研究し、実現に至らなかったもの、成果が早く出てくるもの、10年・20年後に大輪の花を咲かせるものなど、好評につき、第二弾!



▲ピンクリボン・イルミネーション点灯式

- ③ 検診手帳を対象者以外の方に配布しては。
- ④ 乳がんのセルフチェックのためのシヤワーカードの活用は。
- ⑤ 乳がん触診モデルの導入と活用は。
- ⑥ 今後も無

- ① 対象者の人数と配布への取り組みは。
- ② 受診率の現況と受診率向上のための今後の推進計画は。
- ③ 検診手帳を対象者以外の方に配布しては。
- ④ 10月25日の健康フェスティバルで無料配布を予定。
- ⑤ 現在1台保有している。今後もさまざまな場面で活用していく。
- ⑥ 国の動向を注視し検討する。

議員 がんによる死者を減少させるには、早期発見が重要であり、検診の受診につながる方策が大事である。今度、国の女性特有のがん検診推進事業として、特定年齢の女性に対し、乳がんと子宮頸がんの検診無料クーポン券と健診手帳が配付されることになった。無料クーポン券による未受診者への受診率向上が期待される。

① 対象者の人数と配布への取り組みは。
② 受診率の現況と受診率向上のための今後の推進計画は。

③ 今年度は無理。来年度は検討課題。
④ 10月25日の健康フェスティバルで無料配布を予定。
⑤ 現在1台保有している。今後もさまざまな場面で活用していく。
⑥ 国の動向を注視し検討する。

女性特有のがん検診の受診率アップを

手塚 静枝 議員

「より受診しやすい環境を整備」

料クーポン券を継続しては。

医療保健センター事務

長 ①乳がん検診数は3845人。子宮頸がんは4892人。クーポン券と検診手帳は9月24日までに郵送予定。
② これまでの受診率は、ともに低い状況にある。啓発活動や、より受診しやすい環境整備の方法を検討する。
③ 今年度は無理。来年度は検討課題。
④ 10月25日の健康フェスティバルで無料配布を予定。
⑤ 現在1台保有している。今後もさまざまな場面で活用していく。
⑥ 国の動向を注視し検討する。

一般質問

鈴木 麗子 議員

医療情報提供キット配布で緊急搬送時も安心

「先進事例を参考に検討」

議員 緊急搬送時の適切な情報掌握は迅速な治療につながるが、医療情報提供には格差が出ることも考えられる。自分の日常の医療情報等を含めた医療情報キットに保管いただき、緊急時の提供力を補い、安心安全を図っては。

福祉部長 搬送時の情報提供の困難さは理解

できる。導入自治体の活用を参考に検討材料とする。

地域住民協力による高齢者「ゴミ出し」支援

議員 体力や機能が低下している高齢者は、ゴミ出しは負担であり、怪我にもつながる。高齢社会に向け、地域住民の協力による高齢者「ゴミ出し」支援体制を考えてはどうか。

市民生活部長 現在行っている「まごころ収集」支援も含め、地域住民の相互助け合いに

よる支援体制を考えていきたい。

家庭用医療ゴミの分別処理の適正化を

議員 家庭で医療処置を行う方が増えている。家庭から出る医療ゴミの分別と処理の適正化を市民や医療関係機関に周知してはどうか。

市民生活部長 環境省の指導に沿って処理を行っているが、家庭から出る医療ゴミの適正な分別処理法を検討したい。



▲いざというときに安心。冷蔵庫に保管する救急医療情報キット